

平成 29 年度 事業報告

平成 29 年度は、引き続き堅調な景気の回復基調の下で、多数の上場企業が最高益を更新したものの、多くの業種で人手不足感は一層強まり、女性や高齢者の就業促進や一般企業などで雇用延長・定年延長によるシニア社員の就業継続も進みました。

この様な状況の中で、当センターは年度計画に基づき「仕事の開拓」と「会員の増強」に取り組んでまいりました。

また、多様な広報媒体を用いてシルバー人材センターのPRを推進するとともに、会員理事による事業所訪問や委員会、地区地域班、事務局が相互に連携して就業開拓に取り組みました。

その結果、請負・委任の事業高は 6 億 5,700 万円（前年度比 500 万円増）、シルバー派遣事業は、期中に適正就業の観点からも積極的に取り組み、事業高は 2,400 万円と前年度実績の 2 倍となり、請負・委任及び派遣事業の合計の事業高は、6 億 8,000 万円と 6 億 6,000 万円の目標を大きく上回り過去最高となりました。

会員数は、減少傾向にありましたが、甲東地区や鳴尾・鳴尾南地区合同による出前説明会を実施した結果、前年度比 1%増の 2, 264 人となりました。

また、就業率も 83. 3%と前年度に引き続き目標値 80%をクリアしました。

さらに、安全就業面については、傷害事故件数 4 件と前年度実績（10 件）を半減する結果となりました。

1. 事業実績

(1) 事業高

請負・委任の事業高

請負・委任のみの事業高は、全体としては民間部門が減少したものの公共の広報紙配布が伸びたことにより前年を上回りました。前年度比 100.8%、500 万円増の 6 億 5,700 万円と過去最高事業高となりました。

民間部門では、大型量販店の閉店に伴う就業実績の減少はあったものの、事業所を中心に既存先の業務拡大や新規事業所からの小口の受注が増加したこと等が事業高の減少を一定に喰い止め、民間、家庭、独自事業合計では前年比 99.0%、532 万円の減少にとどまりました。

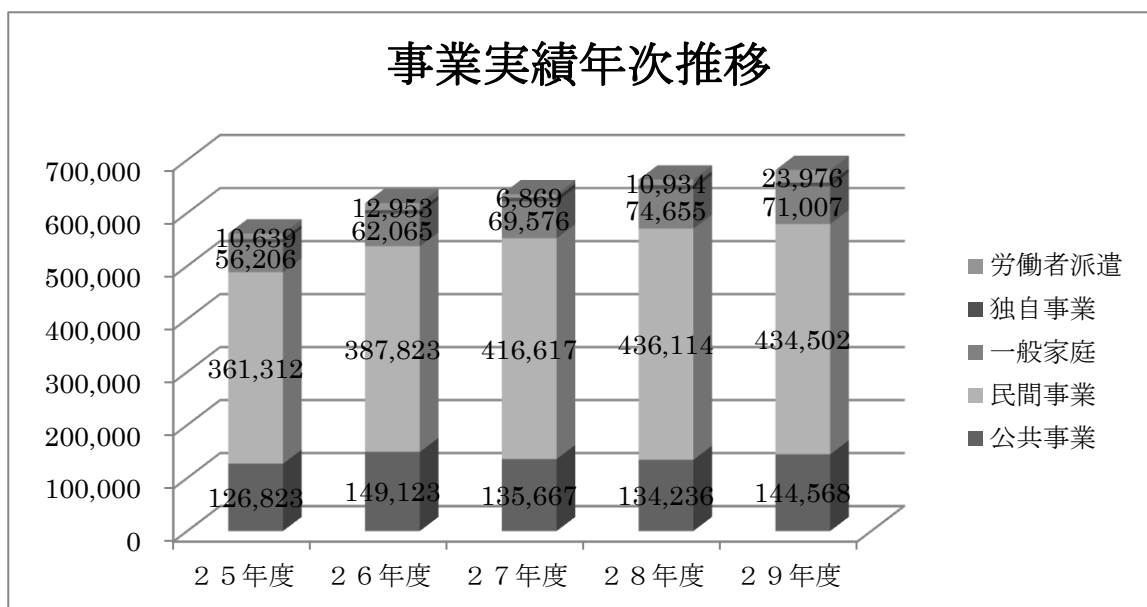
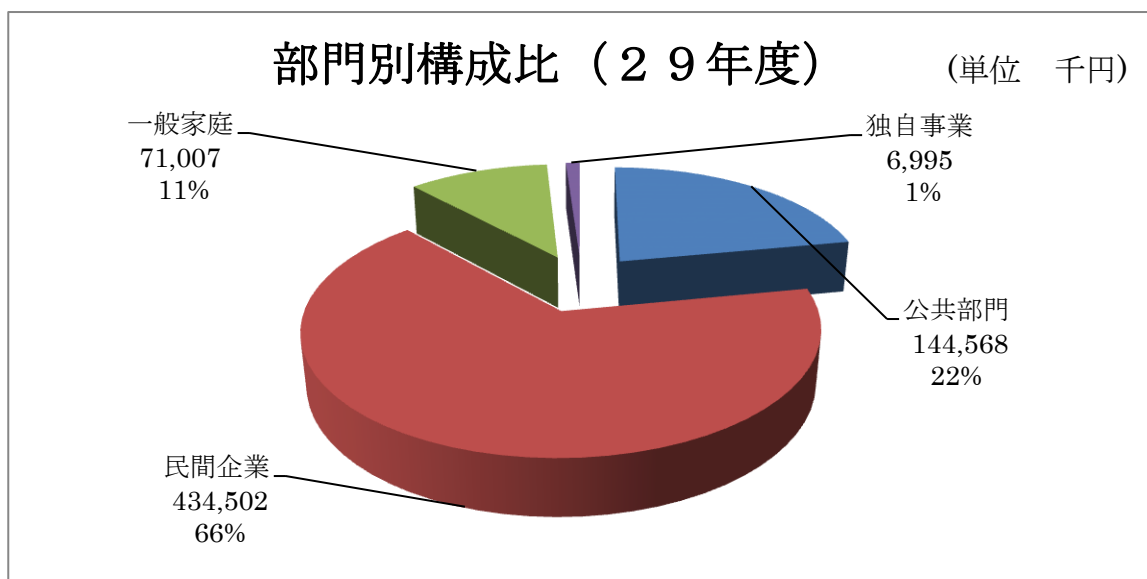
公共部門では、広報紙の配布回数が多かったことにより、前年度比 107.7%、1,033 万円の増となり民間部門の減少をカバーしました。

一般家庭の減少 365 万円は、適正就業の観点から除草、剪定の受託を調整したものです。

独自事業では塩瀬・山口地区での刃物研ぎに続き南部での「刃物研ぎの会」が新たにスタートしました。

事業種別	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	前年度比	
公 共	135,667,425 円	134,236,031 円	144,568,479 円	10,332,448 円	107.7 %
民 間	416,617,058 円	436,114,047 円	434,501,865 円	▲1,612,182 円	99.6 %
家 庭	69,576,874 円	74,655,003 円	71,007,109 円	▲3,647,894 円	95.1 %
独自事業	6,542,043 円	7,051,397 円	6,995,412 円	▲55,985 円	99.2 %
合 計	628,403,400 円	652,056,478 円	657,072,865 円	5,016,387 円	100.8 %

※ 前年度比は、今年度から当年度÷前年度としています。(単位 千円)



※ 独自事業は、少額のため上記の棒グラフには数字の表記はございません。

一般労働者派遣事業（シルバー派遣事業）

事業高は 2,398 万円、前年比 219.3%、1,304 万円の倍増となりました。就業実人員では前年比 253.8%、40 人の増となりました。これまで以上に派遣への積極的な取組みにより事業高は過去最高となりました。

派遣事業	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	前年度比		
事業高	6,869,394 円	10,934,268 円	23,975,900 円	13,041,632 円	219.3 %	
就業実人員	26 人	26 人	66 人	40 人	253.8 %	
就業延人員	1,629 人	2,437 人	4,668 人	2,231 人	191.5 %	
手数料収入	1,568,909 円	2,494,023 円	5,345,949 円	2,851,926 円	214.4 %	
※ 派遣収入	(653,400 円)	(1,097,280 円)	(2,138,400 円)	(1,041,120 円)	(194.9 %)	
会員賃金	5,300,485 円	8,440,245 円	18,629,951 円	10,189,706 円	220.7 %	
平均就業日数	年	62.7 日	93.7 日	70.7 日	▲23.0 日	75.5 %
	月	5.2 日	7.8 日	5.9 日	▲1.9 日	75.6 %
月平均賃金	22,017 円	35,046 円	23,523 円	▲11,523 円	67.1 %	

※ 派遣収入は、上段手数料収入の内、兵シ協分を除いた当センターへの収入です

※ 前年比は、今年度から単純に当年度÷前年度としています。

「請負・委任」＋「派遣」の合計事業高

請負・委任及び派遣を合わせた全体の事業高合計は 6 億 8,105 万円で、前年度比 102.7%の伸びとなり、約 1,806 万円の増となったことから、年度目標の 6 億 6,000 万円を達成し、4 年連続の記録更新となりました。

合計事業高	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	前年度比	
請負・委任	628,403,400 円	652,056,478 円	657,072,865 円	5,016,387 円	100.8 %
派遣	6,869,394 円	10,934,268 円	23,975,900 円	13,041,632 円	219.3 %
合計	635,272,794 円	662,990,746 円	681,048,765 円	18,058,019 円	102.7 %

※ 前年度比は、今年度から当年度÷前年度としています。

(2) 会員の状況

330人の新入会員に対し退会会員は308人で22人の増加となり、平成29年度末の会員数は2,264人、前年度比1%の伸びとなりました。

本年度は、毎月の市政ニュースへの入会PRの広告掲載が確保できず、会員数は減少傾向でしたが、甲東地区と鳴尾・鳴尾南地区合同の2カ所での出前説明会を行い、併せて仲間を増やそう「会員増強キャンペーン」を実施した結果、会員増に転じることができました。

会員数の目標である2,350人には86人及びみせんでしたが、22人増加のうち女性会員が17人の増となっています。

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	前年度比	
入会者数	372人	307人	330人	23人	107.5%
退会者数	323人	303人	308人	5人	101.7%
増減	49人	4人	22人	18人	550.0%
会員数	2,238人	2,242人	2,264人	22人	101.0%

※ 前年度比は、今年度から当年度÷前年度としています。

会員数 男女内訳等

区分		平成27年度	平成28年度	平成29年度	前年度比	
会員数	計	2,238人	2,242人	2,264人	22人	101.0%
		平均71.8歳	平均72.1歳	平均72.5歳	0.4歳	---
	男性	1,510人	1,485人	1,490人	5人	100.3%
		平均72.3歳	平均72.6歳	平均73.0歳	0.4歳	---
	女性	728人	757人	774人	17人	102.2%
		平均70.7歳	平均71.1歳	平均71.4歳	0.3歳	---
粗入会率		1.64%	1.63%	1.63%		

上記、粗入会率計算方法： 会員数÷60歳以上人口 (25頁参照)

※ 前年度比は、今年度から当年度÷前年度としています。

(3) 就業率の状況

就業率は前年に比べ2.7%上昇し、本年度も目標の80%を上回る83.3%となりました。就業実人員は前年より78人増加しました。要因としては景気の安定により受注額が伸びたこと、ワークシェアリングに取り組んだことによるものです。その結果、年間の就業実人員は過去最高の1,886人となりました。

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	前年度比	
会員数	2,238人	2,242人	2,264人	22人	101.0%
就業率	80.5%	80.6%	83.3%	・・・	103.3%
就業実人員	1,801人	1,808人	1,886人	78人	104.3%
就業延人員	190,140人	205,087人	210,048人	4,961人	102.4%

※ 前年比は、今年度から単純に当年度÷前年度としています。

2. 具体的な取組み

(1) 市場ニーズに応える就業開拓活動の推進【就業開拓委員会】

各種広報媒体を活用し、理事、委員会、地区地域班、会員、事務局と連携した就業開拓活動に取り組んだ。

- ・先進シルバー人材センターでの積極的な就業開拓活動を視察し、今後の取組みとして検討した。
- ・新規開拓先として市内のセルフガソリンスタンドを訪問した。
訪問件数 10 件
- ・会員理事が受注先事業所訪問を行い、受注の拡大依頼と適正就業について確認を行った。
2月・3月 18カ所の事業所訪問を実施。
- ・1会員1就業開拓キャンペーンを今年度も全会員で実施した。
13名から21件の訪問報告があった。
委員会委員での事業所訪問のフォロー実施予定。
- ・独自事業でいただいた「(仮)男の料理教室」のアイデア実現に向けての検討をし、月報で参加希望者募集準備を行った。
- ・春、秋の白水峡墓参バスの利用者に、阪急西宮北口駅、JR西宮駅、市役所前で「お墓掃除」PRティッシュの配布を行った。
春：500部 秋：600部
- ・春、秋の彼岸に満池谷墓地3カ所の出入り口でPRティッシュ配布を行った。
- ・さくら祭、市民祭り、シルバーフェア等で会員募集・就業開拓のPRティッシュや

チラシ配布を行った。	合計約 1,000 部
・「さくらFM」にスポットCMを放送。日曜、火曜の昼前	通年
・阪急バス西宮営業所管内車内ポスター広告及び車内放送	通年
・阪神バス山手回り車内放送	通年
・地域情報誌「宮っ子」、シニアライフ協会会報「いぶき」 に広告掲載	年 2 回
・西宮北口郵便局で就業拡大の電光掲示板 PR を実施	1 月から通年

(2) 健康で安全に就業できる環境づくり【安全委員会】

会員の健康と安全に関する以下の事項を推進した。

- ・就業先（除草・剪定現場）6カ所に出向き、安全パトロールを実施し就業環境の安全確認を実施した。
- ・救命講習会をセンターで1回 各地区では下記のとおり実施した。

月 日	主 催	場 所	参 加 人 数
10 月 31 日	塩瀬・山口	塩瀬公民館	12 人
11 月 25 日	甲 東	甲東公民館	14 人
2 月 13 日	センター	センター2階	7 人
3 月 26 日	津門・今津	今津公民館	13 人
参 加 者 数			46 人

- ・交通安全は西宮警察署、甲子園警察署、兵庫県自動車学校、兵庫県安全協会の協力を得て以下の講習会等を実施した。

月 日	講 習 会 名	参 加 人 数
4 月 10 日	交通安全講習会（自転車）	7 人
7 月 10 日	交通安全講習会（歩行者）	20 人
9 月 11 日	交通安全講習会（自動車）	7 人
9 月 22 日	交通安全講習会（鳴尾地区）	20 人
9 月 29 日	兵庫県高齢者自転車競技大会	4 人
10 月 1 日～1 月 8 日	100 日 間無事故 無違反運動	10 人
11 月 23 日	交通安全講習会（自動車）	2 人
12 月 4 日	交通安全講習会（自動車）	4 人
参 加 者 数		74 人

- ・就業先で自動車運転をされる方には隔年で自動車運転適正検査を実施した。

3月参加者 36人

- ・健康維持と増進のために西宮保健所、地域保健課、西宮スポーツセンターの協力を得て健康講習会を6回実施した。

月 日	講 習 会 名	参加人数
8月29日	熱中症、アタマの体操	14人
9月7日	認知症予防（塩瀬・山口地区）	15人
9月11日	健康生活の知識（塩瀬・山口地区）	8人
9月27日	認知症予防	18人
11月29日	冬の健康、感染症等予防	15人
3月12日	認知症予防（浜脇地区）	32人
参 加 者 数		102人

- ・「いきいきシルバーフェア」に西宮市保健所、西宮スポーツセンター、整体師の先生の協力を得て市民の方を含め健康相談と体力測定を行った。

健康相談 40人 体力測定 240人

整体 30人 健康体操 30人

- ・事務所掲示板及び月報に無事故継続日数の掲載を行った。
傷害事故が4件、賠償(物損)事故が6件 発生した。

傷害事故	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	増 減
就業中	9件	9件	6件	4件	▲2件
就業途上	1件	2件	4件	0件	▲4件
(内自転車)	(4件)	(0件)	(1件)	(0件)	(▲1件)
合計	10件	11件	10件	4件	▲6件

賠償事故	2件	5件	3件	6件	3件
------	----	----	----	----	----

- ・就業に関する事故防止に向け、実情に即した見直しを行い「安全就業基準」「作業別安全就業基準」「事故報告書」の見直しをした。
- ・リーダー・サブリーダー会議、広報紙配布責任者会議、地区広報紙配布者会議等に出席し事故報告と安全への啓発を行った。
- ・安全就業基準を違反した会員へのペナルティー制度は本年度も検討中。

(3) 衡平な就業を提供する取組み【適正就業委員会】

衡平な就業の提供と適正な就業のために下記の取組みを行った。

- ・月報同封の「お仕事のご案内」を理解しやすいよう検討を進めた。
- ・事務局が「就業相談会」(常設)において未就業会員の就業に繋げる支援を行った。
相談会員 20人、うち、就業できた会員 15人
紹介したが、就業辞退が2人
- ・「適正就業ガイドライン」に基づき、長期間就業・重複就業・軽易な業務についての問題点を事務局と検討した。
- ・会員理事と事務局により発注者を訪問し適正就業ガイドラインの周知に努めた。
- ・適正就業日数や時間超えの就業状況を調査し、是正に取組んだ。
- ・病気等で就業を休む会員の復帰については、就業チームの協議事項とした。

(4) 地区地域班活動の活発化【地区地域班活動推進委員会】

地区地域班活動が多く会員の参画により活発に運営できるよう、委員会としての支援、検討を行った。

各地区の役員会に委員会として出席し、意見交換を行った。

各地区で課題事項

- * 広報紙配布業務の配布会員の確保、配送会員の確保
- * 配送会員の車両事故と年齢問題
- * 総会などの会議、地区イベントへの参加者が固定化され減少傾向にある
- * 地区役員負担の増大
- * 各地区運営に必要な地区規程に違いがあり一定の統一が必要なこと

課題解決事項

- ・リーダー・サブリーダー交流会(勉強会)で各地区の規程をすり合わせ「地区規程のモデルケース」をセンターとして作成した。
- ・他の課題は継続検討。

広報紙配布業務への支援

- ・7月4日、1月10日、に全地区の広報紙配布責任者会議を実施。
配布センター会員を含め各地区の問題点や成功事例など情報交換を行った。

地区地域班の就業と活動

- ・市政ニュース等広報紙の配布・配送
広報紙配布業務は地区会員の努力により、一部にクレームとなる事柄があったものの、発注者から高い評価を得る中で円滑に実施できた。
会員の高齢化と交代会員不足が慢性的な問題となっており、この問題解決に向け、情報収集、意見交換のため地区総会、新入会員懇談会、各班交流会等に参加した。

地区地域班の努力により配布した広報紙等

市政ニュース	年：23回	
県民だより	12回	
市議会だより	4回	
県議会だより	4回	
市営住宅だより	5回	全広報紙配布事業高
社協だより「しあわせ」	4回	106,936,588円
県民共済	3回	
選挙広報紙	5回	
シニアライフスタイル	2回	
その他（スポット）	7回	

- ・地区地域班での会員相互の交流と親睦
従前の班会議を班交流会に名称変更し、交流や懇親を主体にした親睦会形式とし、会員が集い易い内容とすることをリーダー・サブリーダー会議で提案を行った。また、地区の情報紙「地区だより」の発刊への支援を行った。
- ・公園パトロール業務
地域の子供たちが遊ぶ公園遊具の安全を確保するために、市内全域約 530 カ所の公園で、遊具等の安全点検業務を実施。点検業務の研修会は市の協力を得て年度当初に実施した。
また、公園パトロール業務に従事する就業期間の設定は各地区の判断によることとした。
- ・地区独自のボランティア活動
19 頁の表の清掃ボランティアを実施した。

(5) 就業グループの育成と支援機能の強化【事業推進委員会】

就業グループ及び一人就業の職場で発注者の満足度を得ているか、就業での問題は無いかなど、委員会としての支援方法を検討した。

- ・就業中の 37 チームの定例会議報告書の内容のチェックと、問題提起のあった事案には事務局と連携し対応に当たった。
- ・全女性会員へのアンケートを実施し、家事援助希望者の洗い直しを行った。
- ・家事援助に就いている一人就業会員及び家事援助就業希望会員の意見交換・交流会を 2 回実施し、約 60 人の参加を得た。
- ・就業に役立つ講習会の検討を行い、各々の講習会を実施した（22 頁参照）。

(6)組織活動の活発化ならびに情報受発信体制の強化【企画・広報委員会】

会員が主体となった事業運営体制を確立するために、委員会活動の活発化を支援し、内外情報の受発信体制の強化をめざす。

広報活動の推進

センターと地区地域と就業グループとの情報交流を活発化する。

- ・月報「シルバーにしのみや」を企画・編集し、センター委員会活動、講習会案内及び実施報告、行事案内及び実施報告、就業グループ及び地区活動などに係る情報の掲載をおこなった。
- ・各委員会の活動内容を取りまとめ、四半期ごとに「委員会だより」を作成しリーダー・サブリーダー会議に報告した。

各種広報媒体の企画・制作

- ・会員作品展案内ハガキ、シルバーフェアの案内チラシ、看板・ディスプレイ、出前入会説明会案内チラシ(2カ所分)などを制作した。
- ・翔アップ改訂版の編集方針を決め、取材・原稿作成に着手した。
- ・月報「シルバーにしのみや」のタイトルデザインの変更を行った。

会員活動の活発化

会員活動の一層の活発化を図るために、センター主催事業を企画・運営し、会員交流や研さん活動、市民との交流活動を支援した。

開催日	事業名	開催場所	参加者・来場者数
10月17日～22日	会員作品展 出展会員/44人(58作品)	北口ギャラリー	来場者/ 576人
12月2日	いきいきシルバーフェア 当日スタッフ/140人	六湛寺公園	来場者/1,700人
2月21日	研修バスツアー 当日スタッフ/11人	たつの市方面	参加者/ 108人

(7)会員活動の活性化【総務委員会】

加入促進に努めると共に、入会者の定着と退会防止のための啓発活動に取り組む。

会員の拡大と定着

さまざまな広報媒体の活用、きめ細かな入会勧奨活動の展開により、新しい世代加入促進を図る。

- ・入会者数 330 人（前期比 23 人増 107.5%）、うち女性 138 人（構成比 39.8%）
- ・路線バス車内案内、さくらFMほか広報媒体を活用した当センターのPRのほか、各方面に会員増強チラシの配布・配架をおこなった。

- * 宮水学園行事で配布、市内 24 公民館とハローワーク西宮に配架。
- * 「第 5 回宮っ子還暦式」パンフレットに P R 広告を掲載。
- ・ 会員増強活動の一環として、出前方式による入会説明会を開催した。

開催日	開催地区	開催場所	参加者数
11 月 6 日	甲東地区	アプリ甲東	27 人
2 月 9 日	鳴尾・鳴尾南地区(合同)	なるお会館	59 人

- ・ 入会説明会、研修会のカリキュラムの見直しにより、当センターの活動内容を適切に伝えると共に、就業促進の機会提供に務めた。
 - * 入会説明会でのビデオの活用や会員の就業体験の発表
 - * 入会研修会での同一地区在住者同士の交流会の開催
 - * 希望職種の登録内容、就業意向についての詳細な聴き取りの実施

女性会員の拡充

増加する女性会員の就業機会の拡大やコミュニケーションの場づくりとして、「楽しくエアロ」と「女性の集い」を企画・実施した。

- ・ 楽しくエアロ…毎月第 2 金曜日年間 12 回開催、延べ参加者数 194 人
- ・ 女性の集い…29 年 4 月 9 日 参加者 50 人、30 年 3 月 18 日 参加者 40 人

会員への支援

会員の多様な働き方を支援することで、未就業、低就業を理由とした退会の防止に努めた。

- ・ 新入会員懇談会(11 月 15 日、3 月 13 日)…参加者数 21 人、うち個別面談 10 人

コンプライアンスの推進

コンプライアンスの遵守について、地区役員会などで啓発活動を行った。

(8) 社会貢献・地域貢献活動の積極展開【社会参画推進委員会】

会員のボランティア活動通じて、地区地域班の会員間及び地域の住民との融和と交流を図った。

- ・ 地域と密着した “春の清掃” は各地区地域班の自主性を優先して実施。“秋の合同清掃” は、11 月 12 日に 8 地区で、12 月 9 日に塩瀬・山口地区で青愛協主催有馬川クリーン作戦に参加し「ぐるり西宮クリーンアップ 2017」として実施した。

地区名	実施日	場 所	参加人数
浜脇	4月2日	夙川オアシスロード	49人
夙川	4月15日	夙川公園(銀水橋～JR鉄橋)	40人
中央	5月13日	広田の杜(雨天中止で懇談会のみ)	(30人)
中央	9月30日	広田の杜	45人
地区独自清掃参加者数 3地区計			134人
浜脇	11月12日	御前浜海岸 西部	49人
中央		市立中央体育館周回道路及び171号線南側道路	37人
夙川		銀水橋～JR鉄橋間(夙川河川敷)	47人
鳴尾		小曾根線 コープ神戸前～2号線	29人
鳴尾南		武庫川河川敷公園 南部橋～阪神武庫川駅	33人
津門・今津		春風公園と周辺道路	20人
瓦木		山手幹線大屋町交差点～両度町南	60人
甲東		阪急門戸厄神駅～阪急甲東園駅周辺道路	34人
塩瀬・山口	12月9日	有馬川河川敷 (青少年愛護協会に参加)	9人
センター合同清掃参加者数 9地区計			318人
平成29年度清掃ボランティア参加者 合計			452人

- 本年度も「夏休み工作教室」「ぴよぴよサロン」は有志の会員グループが実施した。
- ・「夏休み工作教室」は小学校低学年児童を対象にペットボトルを使った銀玉の発射台作りで盛り上がり満席の会場は熱気に包まれた。
 - ・「ぴよぴよサロン」では0歳児から2歳児のお子さんを持つ若い母親と、子育てグループの会員が「遊び」と「読み聞かせ」などを通じてふれあい、有意義な時間を過ごした。本年度は2回実施。
 - ・「子ども将棋大会」は、将棋同好会の「一手会」会員総出で運営。また大会中に別室で「将棋教室」など将棋ブームの年に相応しい活気ある取組みとなった。

実施日	事業名	場所	担当会員数	参加市民数
6月12日(月)	ベルマーク集計ボランティア	センター	10人	---
6月14日(火)	ぴよぴよサロン	広田山荘	7人	親子2組 4人
8月5日(土)	夏休み工作教室	センター	7人	親子13組 28人
11月15日(水)	ぴよぴよサロン	広田山荘	6人	親子7組 16人
12月2日(土)	シルバーフェア工作教室等	六湛寺公園	7人	76人
12月3日(日)	子ども将棋大会	広田山荘	16人	31人
1月31日(水)	ベルマーク集計ボランティア	センター	9人	---
参加者計			62人	155人

- ・「ベルマーク収集活動」を継続。

平成29年度収集結果

ベルマーク	15,043枚	22,999.5点
インクジェットカートリッジ	3,285個	16,425.0点
合計		39,424.5点

- ・シルバーフェアにおいて「チャリティー古本市」を出店。

古本 会員70人から1,500冊の寄贈。

販売代金 42,470円

日本赤十字社を通じ、東日本大震災、熊本地震被災地に半額ずつ義援金とした。

(9) 組織活動の活発化

理事会、委員会、事務局が連携して事業運営を進めた。

① 理事による発注者訪問

理事による発注者訪問を行い、受注拡大に努めた(12頁参照)。

② 委員会活動

8つの委員会体制で理事、委員が事業計画に沿った運営、取組みを積極的に行った。

③ 財政体質の強化

事業収入の安定化を目指し配分金、事務費単価の順次見直しを進めた。また、公益法人に相応しい適切な支出に努めた。

④ 関係団体との連携

- ・兵庫県、西宮市、全シ協、兵シ協、近隣シルバー、社会福祉協議会等、関係機関との連携に努めた。
- ・総合事業の指定事業者についての研究を継続した。
- ・兵シ協阪神ブロックでの先進シルバーである堺市シルバー人材センターの視察研修に理事と事務局職員が参加した。
- ・理事と事務局職員が、平成 30 年 1 月 11.12 日の両日、広島市及び鹿児島市シルバー人材センターへ視察研修に出向いた。
- ・シルバーフェアで養父市シルバー人材センターに出店協力をいただいた。

⑤ 派遣事業への取り組み

適正な受注となるよう積極的に派遣業務の P R と就業拡大に取り組んだ。

⑥ 有料職業紹介事業

センターは兵シ協が実施する有料職業事業の実施事業所であり、平成 29 年度は職業紹介に至るまでの相談事例等の結果はなかった。

⑦ 職群班の推進

- ・新たな独自事業班として会員の努力により市内南部に新たな刃物研ぎのグループを立ち上げた。

⑧ 就業相談会の実施

就業相談会を継続実施した。(15 頁参照)

⑨ 効率的な事務局業務の推進

- ・事務局は兵シ協及び尼崎市、伊丹市、芦屋市、川西市の各シルバー事務局と随時事務処理について情報交換を行った。
- ・事務局が養父市シルバー人材センターのイベント等の取り組みを視察した。
- ・全シ協、兵シ協、民間開催の研修会に出席し事務能力の向上に努めた。

⑩ 講習会・研修会等

会員の講習会実施グループが中心となり、マナーアップ講習会、技能講習会を実施し会員の就業意識と技能の向上を図った。

テーマ		実施日	講師	場所	受講者数
毛筆筆耕	講習会 1回目	4月 18・19日	会 員	センター	15人
	フォローアップ	5月 9・23日	会 員	センター	8人
	講習会 2回目	9月 12・13日	会 員	センター	13人
	フォローアップ	10月 3・17日	会 員	センター	11人
	ブラッシュアップ	1月 17・30日	会 員	センター	9人
家事援助	整理術	6月 7日	西宮消費生活 専門家会議講師	センター	16人
	清掃	7月 12日	ダスキン	広田山荘	8人
	幼児との接し方	5月 17日	子育て総合センター のびのび青空間副所長	センター	14人
	傾聴	11月 20日	芦屋市シルバー 傾聴グループ	センター	10人
	調理	12月 20日	ラターブルモンクール オーナーシェフ	兵庫栄 養学校	25人
	認知症サポート養成講座	12月 12日	西宮市キャラバンメイト	センター	7人
マナーアップ	接客基礎編	4月 26日	関西トータルマナー	センター	10人
	接客基礎編	10月 20日	関西トータルマナー	センター	13人
	接客基礎編	2月 28日	関西トータルマナー	センター	12人
包丁研ぎ		7月 12日	会 員	別館	8人
包丁研ぎ フォローアップ		8月 9日	会 員	別館	11人
網戸の張替え		6月 27日	会 員	別館	10人
自転車パンク修理		3月 16日	会 員	センター	5人
除草・剪定		3月 31日	会 員	広田山荘	10人
延べ受講者数					205人